

49 生涯学習

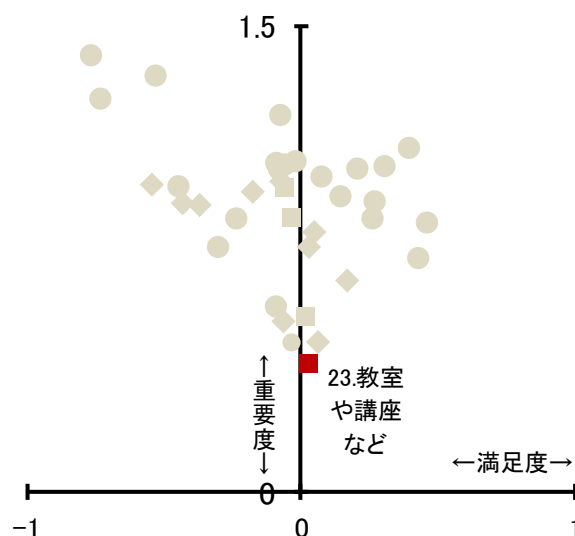
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

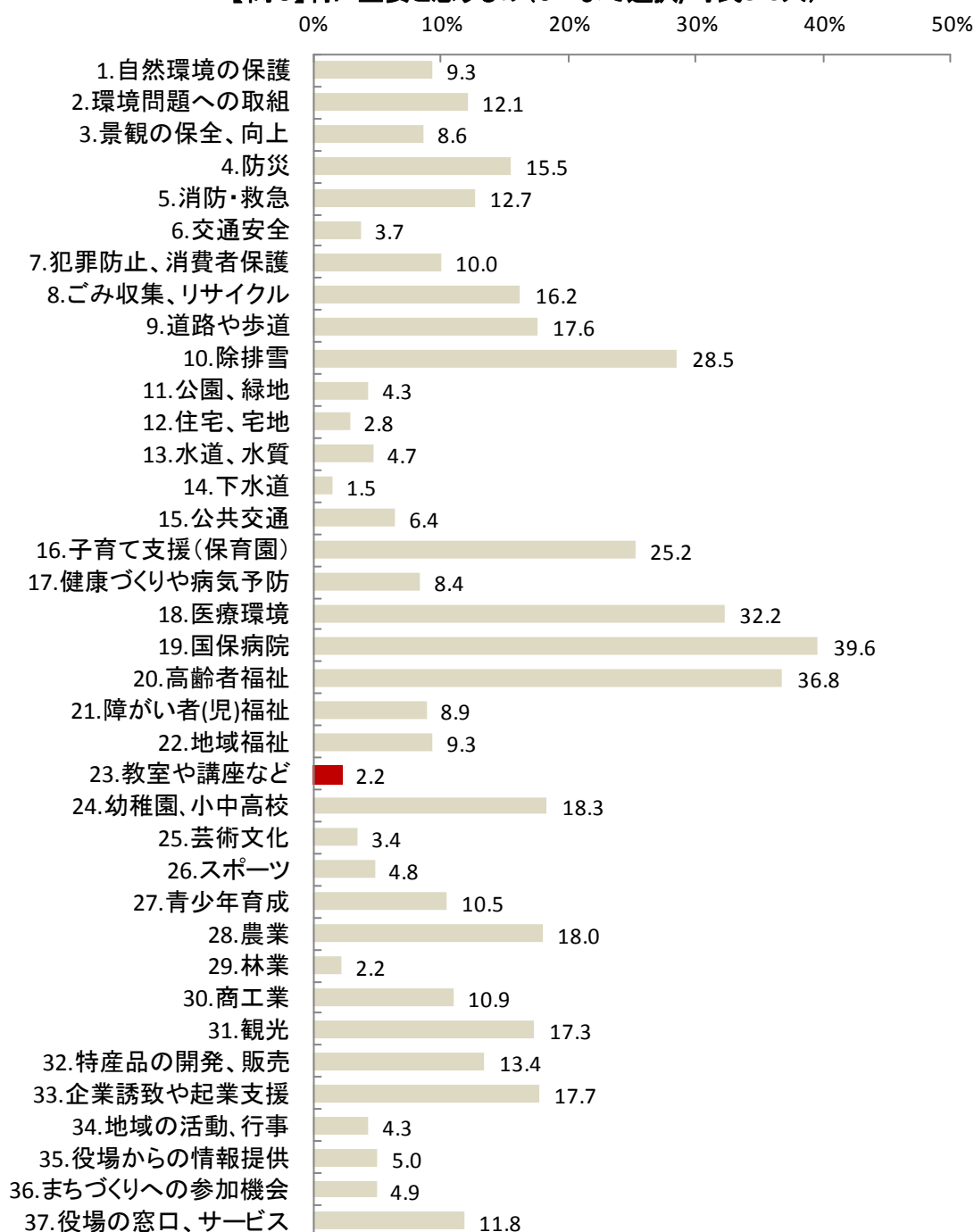
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

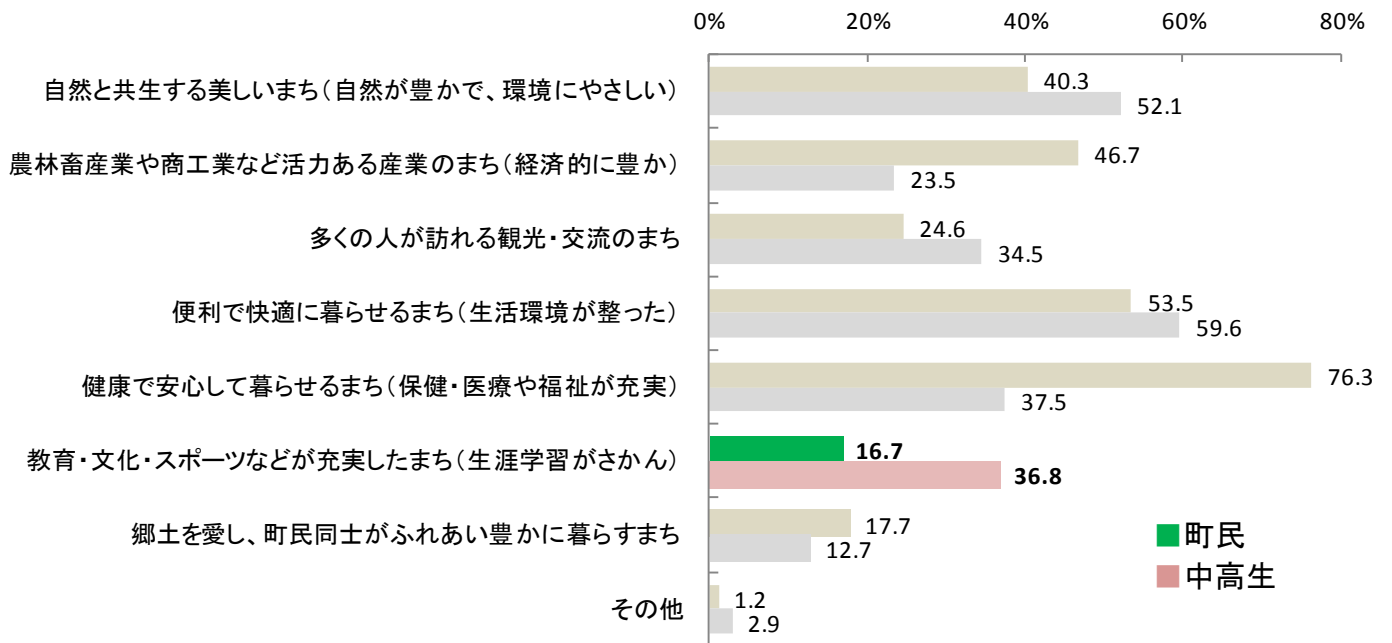
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
生涯学習の推進体制の確立	生涯学習※推進体制の整備	個別の計画において推進・検討しているが、部局横断的な検討までには至っていない。	生涯学習推進体制の整備については教育委員会のみならず部局横断的な組織による検討が必要。	部局横断的な指針や計画の必要性について関係部局と検討する。
	公共施設の空き情報のシステム化	びほーるを含む町民会館は、イベント情報とともに施設の空き情報を町HPに掲載しているが、マナビティーセンターは情報提供をするまでには至っていない。	町民会館では、更新のタイミングをどの程度の頻度とするか、情報の精度を高めることとリアルタイムな情報提供が課題である。 マナビティーセンターは施設利用者の多くが電話問合せを活用しており、サークル利用も年間でほぼ固定化していることから必要性が低い。	マナビティーセンターにおいては全庁的なシステムの確立に委ねることとするが、町民会館においては独自のシステムにより提供する情報を充実させ、利用の拡大を目指す。
	地域活動に関わる人材の登録と活用促進	各学校のPTA活動、総合的な学習の時間での地域人材活用が増えている。	年次更新のシステム化と地域人材の拡大。	リスト登載者と指導分野の拡大を目指すとともに、よりシンプルなリストの活用方法を創出する。
	地域活動への参加奨励および機会の充実	サークル活動については各種社会教育事業や学校授業での指導や他施設での成果披露などが継続的に行われている。	地域活動へ参画する人材の固定化および高齢化、団体規模の縮小傾向。	団体・サークル活動の充実のため施設利用、その他活動の支援を継続して行う。
生涯学習関連施設の整備	図書館における郷土図書資料の充実	広報や図書館だよりにて資料等の提供を呼びかけ収集、整理をしてくれている。	収蔵場所が分散していたり、スペースが無くなってきており問題となっている。	収蔵場所は、新たな施設の建設により確保することで更なる資料、蔵書の充実を行いたい。
	図書館施設等の整備・充実	屋根破風修繕、視聴覚室や読書会室の絨毯張替など小規模な補修、改善により利用者の利便性を図ってきた。図書館システムはH26年度にインターネットとリンクしたシステムとして更新する。	施設の耐久性や蔵書数の増加により、現施設の修繕等による維持や図書、資料の分散保管には限界が来ている。	建築後35年が経過していることと、収蔵能力に限界を来しているため、駐車スペースの拡大を含め新たな施設の建設を検討する。
	マナビティーセンター設備の整備充実	平成25年度に13kw 陶芸窯の熱線交換を実施。	施設設備の経年劣化に伴い、計画的な整備・修繕計画の立案が必要。	陶芸窯は施設利用者の適切な利用と管理により更新時期を延長できているため現状維持とする。他の施設設備も整備・修繕の計画に沿った機能維持を目指す。

	町民会館を 利活用した ホール機能 整備	本町の文化振興拠点施設として、平成 24 年 8 月に「びほーる」がオープン以来、文化ホールとしての施設整備・運営を行い、プロ・アマチュア問わず多くの利用者から多大な評価をいただいている。また、舞台利用が飛躍的に多くなっており、稼働率が全国上位に位置している。	設備面では、舞台の電気容量が不足しており、仮設電源等の設置が望まれるほか、舞台・照明等の物品が不足しており、補充が必要となっている。人的配置面では、舞台に精通する専門スタッフが 1 名しかおらず、利用の質の向上や安全確保の面からも充実が必要となっている。	文化ホール機能を維持・発展させるためにも、物的・人的条件を充実させ、安全かつ利用者・来場者が満足する舞台運営を行う。
生涯学習 活動の促 進	住民参画に よる生涯学 習活動の拡 充	各小学校区でコミュニティスクールが運営。運営委員会を中心に積極的・主体的運営がなされている。	運営委員会に参画していただける人材の固定化と高齢化。	地域の子どもの地域で育む取り組み、小学校を核にした青少年健全育成の取り組みを継続する。
	住民主体に よる生涯学 習活動の奨 励	各団体の主体性により民主的・継続的な活動が行われている。	団体構成員の減少と役員の固定化。	各団体の実情に応じ、適切な支援を継続する。
	図書館ボラ ンティアの 育成と活用	小学校や保育園での読み聞かせや町の事業に協力を頂いており今後も支援していきたい。ボランティアの日にシール貼りや本の清拭を行ってもらっている。体験の日は毎年実施し参加者も小学生が中心となるが一定の参加が得られている。	ボランティアサークル会員の高齢化や固定化が進んでいる。体験の日では参加者に中学生、高校生が少ない状況である。ボランティアの日における参加者は横ばい状態となっている。	現在の活動を継続していけるように会員数の増加など支援を進めて行く。ボランティアの日、図書館体験の日について今後も継続した取組を行っていく。
	博物館にお ける学校教 育との連携	町内の小中高等学校と連携した自然・歴史体験授業の要請が年々増え、実施回数も増加している状況である。	対応できる職員数に限りがあり、オーバーワーク気味である。対応できる職員数の増加が求められている。	継続する
	美幌町子ど もの読書活 動推進計画 による読書 活動の推進	ブックスタート※事業を実施して 10 年を迎え、親子が絵本と親しむ切っ掛けづくりとして効果が出てきている。また、平成 24 年度より小学 1 年生を対象として絵本を渡すブック 2 (セカンド)を開始し、子どもの成長に合わせた読書習慣の形成に向け取り組んでいる。子どもの読書活動推進計画に基づいた取組を日常業務の一環として行っている。	ブックスタートの会場での読み聞かせについては、ボランティアの方に依頼しているが、今後もより多くの人員が必要となっている。子どもの読書活動推進活動計画は平成 27 年度で終了するため第 3 次の計画作成が必要となっている。	ブックスタートは対象者アンケートでも概ね好評であり、ブック 2 を含め今後も継続した取組を行っていく。第 3 次子どもの読書活動推進計画に基づき平成 28 年度以降の取組を行っていく。

※生涯学習：自己の充実・啓発や生活の向上のため、個人の自発的意志に基づき、あらゆる生活の場において行われる学習活動であり、必要に応じ、自己に適した手段・方法を選択し、生涯を通じて行われる。

※ブックスタート：新生児のいる家庭に絵本をプレゼントする、1992 年にイギリスではじまった運動。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ⚙ : 中高生 ♀ : 育児ママ ㊦ : 自衛隊 ⚙ : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

【美幌町で好きなもの・こと】

- ☺ 博物館
- ☺ 図書館
- ☺ びほーる

♀ 「びほーる」で、子ども向けのイベントをしてほしい。「お母さんと一いっしょのファミリーコンサート」など。

♀ 「びほーる」のトイレの手洗いの水が冷たかったことがある（冬）。

㊦ 博物館やみどりの村は郊外にあり遠い。内容もあまり PR されていない気がする。

㊦ 以前博物館に行ったことがあるが、開館しているのかどうなのか分からず、迷った。

● 博物館の活動や、びほーるでのイベント等周知されていないことが多い（→おしい感じ。）企画をたてるのもいつも同じ人たちなので風通しを良くし、様々な人が作り上げていければと思う。インターネットHPなどの活用がイマイチ。（女性・30代）

● 子供が多い町なので、（親子で）一緒に入れるカフェや講座があるとうれしいです。（女性・30代）

● 美幌町開基百年史によると、以前は有名な人物の講座等があった様です。近年は特に有名な人物の講座もなく、何となく過ごしている様子です。街の豊かさはさておき、何か目玉となるような人物の誘致？等があれば、良いのですが。いかがなものでしょうか。（女性・50代）

● ろくろの陶芸教室を開いてほしい。（男性・40代）

● 美幌町では、個々の意見が強く、協力し合う考えが弱いように感じます。人を育てるには、相手を思いやり、助け合える為に考えていく事が一番だと思っています。もっと、周囲に目を向け、人の心を育てるような生涯学習にも力を入れてもらいたいと思います。（女性・30代）

○ 博物館をより多くの人が利用できる施設にできないか。魅力がいまいち無く、大人でも楽しめる施設になれば美幌町を PR できるものの1つになるのでは

○ 地元カフェを図書館に併設するなどして、居心地のよい空間にした公共施設を含めた「いなカフェ」のつながり（チェーン）をデザインしてもよい。他方で、民間のカフェにも、そのカフェのマスターお気に入りの本を並べて文庫を設けてもらい、「まちじゅう図書館」のような取組にしてもよい。

○ 生涯学習で生きがいを持つ。全町民が生きがいを感じ、健康で安心して生活できる環境づくり